

【学校の教育目標】 確かな学力と、豊かな心を備えた、たくましい西岳っ子の育成

【 総 評 】

4段階評価

4：期待以上

3：ほぼ期待通り

2：やや期待を下回る

1：改善を要する

評価項目		評価指標	学校の自己評価結果コメント	自己 評定	評定	学校関係者評価コメント	
知	すぐれた 知性	① きめ細かな指導により児童の学力は向上したか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少人数の利点を生かし、児童一人一人の理解度に応じた指導を行うことができた。つまり早く気づいて支援できたことで、学習内容の定着や学習意欲の向上につながった。今後も個別最適な学びを充実させていく。 ○ 校内研修では、子どもが主役となる授業「わ・さ・び」を意識し、主体的に学ぶ姿を引き出す授業づくりに取り組んでいる。また、ICTを活用して児童の表現力を高める実践も進めており、学習への意欲や発信する力の向上につながっている。 ○ 図書室の児童一人当たりの貸し出し数は月平均5.5冊であり、個人差はあるものの、多くの児童が読書に親しんでいる様子がうかがえた。一方で、家庭での読書習慣については十分に定着していないとの評価があった。今後は、読み聞かせ活動や図書室の積極的な活用を通して、児童が読書の魅力に触れる機会をさらに広げ、家庭での読書習慣の定着にもつなげていきたい。 	2.96	2.99	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人に目が行き届き、理解度にあわせた指導ができる利点があると同時に、学力に対する競争意識が芽生えにくい環境にあると思うので一層の取組に期待します。 ・全学年が複式学級なので先生方の負担は大きい事でしょう。その中で意欲・学力の向上に取り組んでいただける事に感謝している。 ・少人数で先生方の目が行き届いているのが感じられ個人授業みたいでいいと思う。 ・PTA新聞作成で長いこと関わっていますが、パソコンの使い方が上手にできていると実感しています。 ・読書の習慣は学童期の成長過程には重要な要素となると思うので引き続き積極的に取り組んでほしい。 ・毎週月曜日に読み聞かせボランティアとして子ども達と関わらせてもらっている。興味のある本には、グイグイくらいついてくれるのでやりがいを感じている。文字のみの本が非常に少ないので想像力の欠如が気になる。 	
		② 各学年において読書量の目標は達成できたか。					
徳	豊かな心	③ いじめのない豊かな人間関係が築けているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 月1回のアンケートや職員の情報交換会を通して、児童の人間関係の状況を継続的に把握している。多くの児童が友人関係について肯定的に回答しており、概ね良好な関係づくりが進んでいるといえる。一方で、一部には不安を抱える児童も見られるため、引き続き丁寧な見取りと支援を行い、より豊かな人間関係の形成を目指していく。 ○ 学校内では多くの児童が意識してあいさつを行っているが、学校外ではあいさつが十分にできない場面も見られる。今後は、地域との関わりの中であいさつの機会を増やすなど、学校内外で一貫してあいさつができるよう、継続した指導と働きかけを行っていく。 ○ 児童の基本的な生活習慣は概ね身に付いてきているが、朝の支度や忘れ物などに課題が見られる児童もあり、引き続き家庭と連携しながら習慣化を促していく。 	3.12	3.07	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数の学校で長期欠席者が散見しているのを危惧している。自主的不登校者と人間関係を築けずの不登校者との棲み分けしての対処はどうか気になる。 ・人間関係は概ね良好とのことですが、少人数ならではの人間関係の難しさもあると思います。不登校などに繋がらないように今後も支援をお願いします。 ・朝の登校時、中学生と一緒にいる様子を見えています。中学生に習ってあいさつもよくできているように思えます。 ・あいさつに子ども、おとな、立場は関係ありません。まずは自分から。 ・学校外で会うとあいさつをしてくれる。 ・基本的な生活習慣のとらえ方が個人の選択肢の自由という名目の基に規範意識の欠落につながっている。 	
		④ 児童のあいさつ、後始末の習慣は身についているか。					
		⑤ 基本的な生活習慣は身についたか。					
体	たくましい からだ	⑥ スクールスポーツプランに基づく取組により運動能力や体力は向上しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 年間を通して体力づくりに取り組み、スクールスポーツプランに基づく継続的な指導を行っている。体力テストでは県平均と大きな差はなく、一定の成果が見られる。今後は、児童一人一人の課題に応じた指導をさらに充実させていきたい。 ○ 健康・安全に関する指導は、年間を通して計画的に実施しており、基本的な生活習慣や安全意識の定着に向けた取組は概ね充実していた。毎朝の「元気もりもり体操」や全校で遊ぶ日の設定など、日常的に体を動かす機会も確保している。今後も継続的な指導を行い、児童の健康と安全の確保に努めていきたい。 	2.92	3.06	<ul style="list-style-type: none"> ・健全な肉体が健全な精神をつくる。立腰、正しい姿勢、正しい発声、今後ともあきらめずにご指導いただきたい。 ・スポーツフェスタを拝見しました。児童の動きが、数年前に比べて小さくなっているように思えます。これも中学生の影響かなと思えますが。 ・スポーツフェスタで新1年生も一生懸命にやっているのを見て、すごく成長しているのが見られた。先生方の指導力のすごさを感じました。 ・心身の健康が最も大事なことだと思いますので、一人一人の体力の課題に応じた支援に引き続き取り組んでほしい。 	
		⑦ 健康・安全に関する指導は充実していたか。					
ふるさと教育		⑧ 学校・地域の特色及び、関係機関との連携を活かした体験活動を実施できたか。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 今年度も田植え・稲刈り体験やもちつき会、しめ縄づくり、花の植栽活動と多様な活動を、地域の方々の協力を得ながら実施することができた。また、西岳地区文化祭における太鼓演奏では、地域の多くの方々に演奏を見ていただく機会となっており、児童にとって良い刺激であり励みとなっている。今後も地域・関係機関と連携をしながら体験活動を実施していきたい。 	3.16	3.50	<ul style="list-style-type: none"> ・1年を通じて西岳地区の行事に積極的に参加してもらい地域を大いに盛り上げてもらっている。感謝、ありがとうございます。 ・小中両校の連携をもっと深めてもいいと思います。両校の学校運営協議会の合議で「義務教育学校」への協議を進めてもいい時機に来ていると感じます。 ・地域との繋がりのある様々な行事に参加し、おとなとの関わり合いなどを経験することが児童にとって貴重な体験になっていると思う。 ・ボランティアをする人も少なくなってきている。 	

1 本年度の取組について

- 本年度は、教師の授業力の向上、ICT（ツール）を活用しての児童の表現力を高める研究を進めた。11月には、西岳・夏尾地区小中一貫教育小中合同授業研究会において授業を公開し、成果と課題を共有する機会とした。
- 学校ボランティアの協力により、朝の読み聞かせや花壇への花の植栽も実施できている。田植え・稲刈り体験、しめ縄作り、もちつき会などの体験活動も実施できた。地域の方々との交流によって、児童の体験活動が充実し、西岳への郷土愛が育まれている。

2 次年度への取組に向けて

- 次年度も、職員の授業力向上に取り組み、個に応じた指導の充実を図っていきたい。そのために、校内研修を計画的に行い、授業の相互参観等の手立てを行っていきたい。
- 学校行事や児童の体験活動においても、学校ボランティアをはじめとした地域の方々や保護者との連携を深め充実した活動になるよう取り組んでいきたい。